

高花四丁目自主防災会
会 長 粕 谷 茂

団地の防災活動に関するアンケート調査報告

「災い」の年、平成 16 年も残り少なくなり、ご多忙な歳末をお過ごしのことと存じます。
さて、11月末に皆様のご協力を戴き実施いたしました「団地の防災活動」に関するアンケート調査は、全棟から集票され、合計 109 通の回答が得られました。ありがとうございました。
早速、結果をご報告させていただきます。（回答の内訳は、添付した集計表の通りでした。）

寸 評：

1. 災害発生時や日常の防災活動に対し、「積極的参加」・「可能であれば参加」と回答された方が、回答者の 90%以上で、今後の団地防災活動をする上で、非常に心強く感じられました。
2. 防災活動に関わることが可能な具体案として、6つの作業と、「何でも良い」という項目を提起しましたが、「何でも良い」と回答された方が 44 通・と最も多く、ついで「給水給食作業」と答えた方が 36 通で、それ以外の作業にも満遍なくご回答がありました。

3. 今後希望する体験や訓練項目については、7 通の提案が寄せられました。特に地震体験を希望される方が 3 通あり、関心の高さがうかがえます。

千葉県内でいつでも地震体験できる公共設備は、今のところ千葉市と松戸市にある「防災センター」で、当防災会でも去る 9 月 26 日に「松戸・西部防災センター」での体験会を実施しています。

このような地震体験会は、今後も機会を見て検討して行きたいと思います。

また、「階段を使わない避難訓練」をご提案いただきましたが、万一の場合は、「ベランダを使って隣の家に移り、そちらの階段を利用して避難することが基本である」ということを熟知していただき、普段からベランダの隔壁板付近への置物に留意されることをお願いいたします。

4. 防災活動の効果については、回答者の 72%（78 通）が「有益」と評価。「あまり効果がない」とした方が 14%（16 通）。有効性を考える時に、「訓練作業の熟練を期す」ことも必要なことですが、それよりも、お隣さん同士が一つの作業を通じて話し合える場を持つことが、自主防災会の最も望まれる活動だと思うので、この意味では、まだまだ改善の余地があると考えています。

5. 災害時における管理組合の共有施設・備品運用については、「管理組合と防災会の協調」・「初期対応マニュアルが必要」とした方で、101 通となり「現状で問題ない」とした方が、5 通です。

管理組合理事会とは、9 月 4 日に集会所で会合を持ち、町内会を含めた「団地内での災害発生時の初期体制」について協議していくことを確認しあっています。

6. これだけ携帯電話の普及が進んでいる中で、被災時に最も気になることとして、「家族の安否確認」とを挙げた方が圧倒的に多く、多数の「帰宅困難者」発生が想定されている状況で、情

報源の確保は、市外や都心通勤者が大半を占める団地での重要な課題であると思われます。

7. 防災会の存在認識と加入についての設問では、11通（10%）の方が、“組織を知らなかった”
…とあり「11通のうち10通」が、防災会未加入者から寄せられました。

防災会のPR」が、不十分だったと反省させられました。

8. 防災組織の在り方についての設問では、“管理組合の傘下組織”…を望む声が約70%（75通）ありました。

“組織の統合・簡略化”や“情報伝達の一元化”など、団地内の組織形体を一つにしたらどうか？…という意味合いもあると思います。

この件に関しては、

【現状の管理組合同規約上から、すぐに対応するのは問題が多すぎる】…として、

【理事会と共同でアンケート調査を行うことは、調査項目からこの設問を外すことを条件とする】
…旨、理事会から提案されたため、“住民の考えを確認したい”という防災会の意向を踏まえて、
今回は理事会との共同調査を断念し、防災会単独での調査に至った経緯があります。

そこで、このアンケート結果を理事会に報告し、『防災組織を管理組合傘下とする場合』…に
“対応が困難”とされる具体的問題点について、理事会としての見解をご回答頂けるよう申し入れ、
皆様にお知らせしたいと考えています。

総 評： 慌しが増す12月初めのアンケート調査に対し、「町内会棟代表」の方には大変お世話になりました。また、回答をお寄せ戴いた皆様にも併せて感謝いたします。

今回の調査結果を受けて、防災会幹事会としては、会のPR活動を推し進めるとともに、
防災会の今後の在り方について早急に検討して行きたいと考えています。

自主防災会とは…（市発行資料：「自主防災組織」一心構えと活動のポイントより）

- 自然や人為による災害から、いのち・財産・わが家わが町を守るための、地域の人々の
まとまった力―これを「自主防災組織」とか「住民防災組織」など、いくつかの呼び
名で表している。

- 『災害対策基本法』では、…市町村長は、…当該市町村の区域内の公共団体等の防災
に関する組織及び住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織の充実に図り、市町村の有
する全ての機能を十分に発揮するよう努めなければならない…。

また同法には、『住民の責務』として、…地方公共団体の住民は、防災に寄与するよう
努めなければならない…と規定しています。

- 印西市自主防災組織助成要綱では、『自主的な地域の防災活動を行なうために、町内会
等を単位として組織した団体…』と定義しています。

※H.16.2.14 現在、印西市には50団体の防災組織があり、38団体が“自主防災会”を
呼称し、12団体が“防災委員会”又は“防災会”という名称となっています。

- 印西市の指導要領では、防災訓練の目的として、次の事を掲げています。

- ①災害発生時に、危険の拡大をおさえること。
- ②災害発生時に、一人でも多くの人々が危険から逃れ、命を安全に守ること。
- ③災害発生時に、混乱を避けること。

高花第二団地 防災アンケート集計表 (H16.11.22実施)

回答総数

109通

質問1	居住区分は？	区分所有者	103通
		占有者	6通
質問2	災害発生時の防災活動について	積極的に参加	26通
		可能であれば参加	78通
		参加できない	5通
質問3	日常の防災活動について	積極的に参加	14通
		可能であれば参加	88通
		参加できない	6通
		表示なし	1通
質問4	関わる事が可能な活動部門は？	防災本部	6通
		広報	6通
		初期消火	12通
		救出救護	11通
		避難誘導	17通
		給水給食	36通
		何でも良い	44通
		表示なし	8通
質問5	体験を希望する項目や訓練種目の具体的提案	応急救護	1通
		起震車による地震体験	3通
		被災地活動の実例説明会	1通
		階上から階段以外の避難	1通
		救命救護訓練	1通
質問6	現行の防災活動について	有益だと思う	78通
		あまり効果がない	16通
		無意味	1通
		表示なし	14通
質問7	被災時における共有施設・備品の運用について（複数回答）	初期対応マニュアルが必要	48通
		管理組合と防災会の協調	53通
		現状で問題ない	5通
		表示なし	8通
質問8	被災時にも最も気にかかることを一つだけ挙げる	家族の安否	83通
		避難方法	12通
		災害状況確認と連絡方法	9通
		避難場所	4通
		（一人で外出できない）	1通
		想定される被害	1通
質問9	自主防災会の存在について	組織があることを知っている	97通
		組織があることを知らない	11通
		回答番号と異なる記載	1通
質問10	自主防災会加入について	既加入者（町内会々員）	81通
		組織協力者（非会員）	0
		未加入者	28通
質問11	非会員のみ回答 防災会への加入について	町会と別組織になれば加入	13通
		組織には加入しない	13通
		表示なし	2通
質問12	防災組織について	管理組合傘下組織とする	75通
		単独の独立組織とする	16通
		表示なし	18通

”気になること” & ”ご要望 ”・・・で載いた内容 〔2通〕

1	自主防災会のPR不足。（・ソモソモ「自主」の意味がアイマイ！単に「防災会」ではマズイか？） 管理組合との関係不明確。一本化した別組織がベター 関係者がダブっても良いから。 市当局との関係や連携はどうなっているのか？ 自主とは、全て自己でやる意味なのか？
2	管理組合と連絡体制が取り合える組織であればよいと考える。
3	積極的活動ありがとうございます。今後とも団地のこと、よろしくお願い申し上げます。
4	有事においての、非会員への対応がどうなるのか、大変気になります。
5	基本は、個人にどれだけ備えと自覚があるか。自主防災会や管理組合、市、国に甘えないこと。
6	各棟の偶数又は奇数階に、一本ずつ消火器を設置してはどうか？
7	足に障害があるので、出来る範囲で防災活動に協力したい。
8	団地の建物が、どれくらいの耐震強度を有するのか？ 例えば 震度7では、どれくらいの損傷を受ける可能性があるか・・・」などを科学的に検討して、情報を提供すると、住民の関心も高まると思う 棟によっては異なる建築構造があるため、耐震強度も異なると思う
9	災害発生時の防災活動では、管理組合・町内会・自主防災会すべてが、合同の組織となることを希望するので、設問12に対する回答をしませんでした。
10	耐震マットなど、町内会などでまとめて購入していただき、希望者に有料で頒布して頂ければと思います。
11	居住者（消防官、警察官）、また、防災センター講習者の活用
12	路上駐車による、救助車の交通路確保対策